

# 「選択的夫婦別姓制度」にエールを！

選択的夫婦別姓

制度の導入に反対の意見とは：

**伝統的な家族観（家父長制）を護るのだと。**



「婚姻における夫婦の同姓強制」とは、

廃止された「家制度」が、  
あたかもそこに「家」があるように、  
錯覚させる「装置」である。



姓は違っても仲良く



夫=出自の姓  
妻=再婚:夫の姓  
子ども=妻の前の姓  
(名前が変わるのは姓)

「家族の絆」について、

現民法は、  
個人を単位とし、  
「家族」を単位としていない。  
現民法は「家族」の定義は無い。



反対派は  
旧姓の「通称姓の拡大」に、  
国家予算を  
何百億円も費やす



(朝日新聞 2021.1.29)

「夫婦別姓」求め、  
法学者と弁護士 1000 人が  
共同声明

これは、  
人権の問題なのです。

結婚で、  
多くの男性がしているように、  
女性も、自分の  
「姓(氏)」で生き、逝きたい。

男女平等の象徴が  
「選択的夫婦別姓」なのです。

男性も女性も、「姓(氏)」の  
継承が可能になります。

制度が変われば、  
人々の意識も変わります。

選択的夫婦別姓を実現する会・富山  
選択的夫婦別姓の会・富山  
(ななの会)



20~50代の7割が賛成！47都道府県「選択的夫婦別姓」全国意識調査の結果

2020年11月18日調査  
早稲田大学法学部 権利政治学専攻  
選択的夫婦別姓 全国調査アクション  
全国調査  
47都道府県  
「選択的夫婦別姓」  
意識調査

20代~59歳まで、  
全国47都道府県で男女7000人意識調査  
70.6%が「選択的」夫婦別姓に理解

(NHK、朝日新聞、他)

「結婚の際の姓のあり方」について

性別	年齢	夫の姓を継承する (%)	妻の姓を継承する (%)	両方の姓を継承する (%)	どちらの姓も継承しない (%)
男性	20-29歳	13.4	41.6	18.7	26.3
	30-39歳	17.0	37.6	13.3	32.1
	40-49歳	30.5	28.2	21.4	19.9
	50-59歳	33.4	20.7	16.1	29.8
	60歳以上	41.4	14.1	11.4	33.1
女性	20-29歳	6.3	37.9	10.4	45.4
	30-39歳	0.0	37.0	11.3	51.7
	40-49歳	10.7	36.4	13.3	49.6
	50-59歳	13.3	34.0	12.3	40.4
	60歳以上	16.7	24.0	11.3	48.0

2020年11月18日調査。N=7000。調査対象は20代~59歳まで。調査方法はインターネット調査。調査期間は2020年11月18日~2020年11月25日。調査実施は早稲田大学法学部 権利政治学専攻 選択的夫婦別姓 全国調査アクション。

「わがまえずに声あけて」小野百合子都知事に議決を要望を全文 2021年4月22日

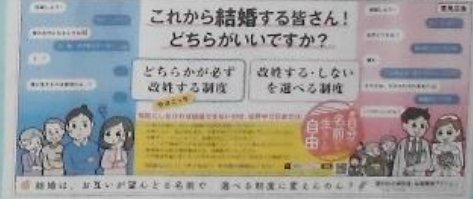


日本の首都である、東京都議会での全会一致 2021年6月7日



「全会一致」で  
意見書可決の東京都議会

2021年6月23日愛媛新聞に載った意見広告「選択的夫婦別姓・全国調査アクション」



あした夫婦別姓「選べる」になあれ！

